

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・50〉 いわき市立湯本第一小学校
〈実施日〉	平成28年 7月 15日(金)
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は( )に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他( )
〈実践内容〉	題材名「放射線について知り、健康な生活を送ろう」 ねらい 放射性物質と放射線のちがいを知り、放射性物質を取り込まない方法を考えることができる。  1 放射線について知る。 (1) 身の回りの放射線 ・宇宙から・大地から・空気から・食べ物から (2) 放射性物質と放射能, 放射線 (3) 放射性物質の変化(校地内の放射線量の推移)  2 放射線の人体への影響について知る (1) 放射線の影響を測る単位…シーベルト, マイクロシーベルト (2) 外部被曝と内部被曝 ・外部被曝…宇宙や太陽から, 建物から, 医療から, 地面から ・内部被曝…空気, 水, 食物 (3) 放射線の多い場所を確認する。 ・草むら・芝生の上・側こう・木の根元・水たまり・雨どい など  3 体の中になるべく放射性物質を取り込まない方法について話し合う。 ・外で遊んだら, 手洗いうがいをする。 ・服についたほこりや, 靴についた土などを落とす。 ・放射性物質が多い所に近づかない。  4 学習のまとめをする ・分かったこと, 今後取り組みたいこと など
〈成果〉	○放射線と放射性物質のちがいを明確にし, 内部被曝・外部被曝について知ることができた。 ○放射性物質の多い場所を, 写真や絵で具体的に理解させ, 放射性物質から身を守る方法を考えることができた。 ○校地内の放射線量を測定し, 数年前の数値と比較して提示したことで, 放射線に関心をもつことができた。
〈課題〉	○放射線について, 菌や体に害のあるものというイメージをもっている児童もいれば, あまり知らない児童も見られた。「放射線が体に与える影響についてさらに知りたい」という意見も出され, 個人差に応じた指導の難しさを感じた。 ○指導資料の累積と整理, 指導計画の見直しを, 職員が共通理解しながら進めていく必要がある。
資料作成担当者職(教諭)氏名(小池真貴子)	学校電話番号(43-3009)

### 【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。  
(送信先: [kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp))